



学校教育目標

三根中学校に誇りをもつ生徒を育てる ～自主・自律・寛容の態度形成を通して～

## 1年の半が終わりました！

9月も今日で終わり、4月から始まった令和7年度も半分が終わりました。いよいよ後半戦です。年度当初に生徒一人ひとりが立てた目標はどれくらい達成できたでしょうか。

特に3年生は修学旅行も終わり、残すところ大きな学校行事は10月17日開催予定の文化発表会のみとなりました。卒業後の進路選択についても大詰めの際に差し掛かっています。受験は年明けから本格的に始まります。つまり、10月から12月末までの3か月が実質的な追い込みの時期となります。学校の授業はもちろん、家での学習時間と学習内容が勝負の分かれ目となります。計画的に、そして着実に目標に向けて努力してもらいたいと思います。

また、2年生は11月12日に開催される生徒会選挙を経て、実質的に学校での中心的学年となります。誰をリーダーとして選び、どのような三根中学校を築き上げ、新たなページにどのような歴史を刻んでいくのか、とても期待しています。

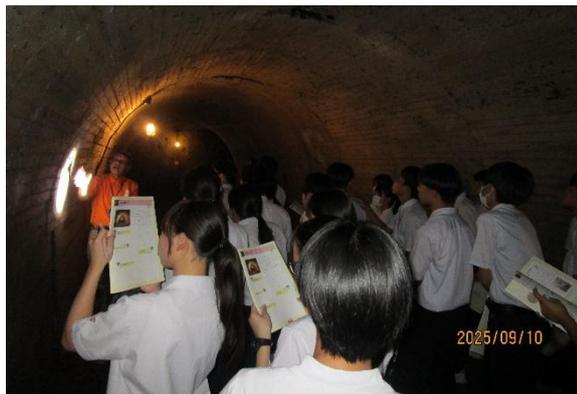
そして、1年生は残り半年で「先輩」となります。来年度入学してくる新1年生に、いろいろなことを教え、そして導く側となります。教えられる側と教える側では難しさが全然違います。何を、どのように分かりやすく教えるか、いまからの半年で立場が変わることをイメージしながら学校生活を送ってもらいたいと思います。

## 修学旅行・職業体験・バス研修

3年生は9月10日から2泊3日で、熊本・鹿児島方面へ修学旅行に行きました。それぞれの目的地でどのように活動するか、事前準備に時間をかけて、当日を迎えました。すべてバスでの移動でしたが、初日の大雨・雷によるトラブル（落雷による熊本城見学変更と大雨による高速道路一部通行止め）以外は、順調に旅程を進み、心配された雨も降らずに素晴らしい修学旅行となりました。個人的には人吉の「ひみつ基地ミュージアム」は初めて訪れる施設で、戦後80年間、地元の人にも「ただの防空壕」と思われていた場所が、実は海軍が建設した大規模な施設跡とい



うことが分かった場所です。生徒にとって太平洋戦争という1つの知識が、80年前には現実のものとして当時の人々の様々な思いと歴史が存在していたことを確認できる素晴らしい施設でした。海軍が使う魚雷を製造していたという狭い防空壕では、壁面が人力で掘られたという証であるツルハシの跡がぎっしりと刻まれていました。この防空壕を作ったのは当時の14歳くらいの少年たちという話を聞き、平和の尊さを感じました。



二日目は鹿児島市内の自主研修ということで、班ごとに思い思いに見学地を決め、おいしい昼食を食べたようです。集合場所の水族館ではたくさんのお土産を買う生徒がいました。三日目は荒尾市にある「グリーンランド」で終日楽しく遊び、修学旅行を終えました。お世話をしてくださった多くの方々に感謝をしつつ、よい思い出を明日からのエネルギーにしてもらいたいと思いました。

